

広島大学短期交換留学プログラム 派遣留学報告書

記入日 2018年3月1日	
派遣プログラム	<input checked="" type="checkbox"/> HUSA <input type="checkbox"/> USAC <input type="checkbox"/> UMAP
留学先大学	シェフィールド大学 (国名: イギリス)
所属学部・学科等名	School of English
在籍身分	Study Abroad Programme
留学期間	2017年9月25日～ 2018年2月3日

1. 留学するまで	
留学への志望動機・派遣先大学を希望した理由	専門分野である英語学や英文学を学びたいと思っており、イギリスでの留学を希望していた。シェフィールド大学はイギリスの提携大学の中で最も募集定員数が多い大学であったということに加え、先輩の報告書やネットの情報などからシェフィールドが治安の良い街だということを知り、第一希望に決めた。
留学準備を始めた時期 (応募する何か月前ですか?)	高校生の頃より大学で交換留学をしたいと思っていたため、情報収集に関しては大学入学後早い段階から行っていた。語学試験は応募する一年くらい前から受け始めた。
事前準備について (どのような準備をしたか、しておけばよかったか)	学内の留学相談や交流会などで留学経験者の方たちから話を聞くことで情報収集をしていた。並行してIELTS (語学試験) を受けていた。受験料がかなり高額であることに加え、広島での開催も限られていたため、もう少し計画的に勉強しておけばよかったと思う。また、目標スコアに達したあとも継続して英語 (特にスピーキング、イギリス英語のリスニング) を勉強しておくべきだった。

2. 渡航について	
ビザについて	ビザの種類: Short-term Study Visa
	ビザ申請先: 大阪英国ビザセンターに提出
	提出書類: 成績証明書、通帳の残高証明書、在学証明書、シェフィールド大学からのビザレター、航空券のコピー
	手続きに要した日数: 3週間ほど
その他必要な事前手続き	奨学金申請、クレジットカード、国際学生証の取得、パスポート・ビザの取得、寮の申し込みと頭金払い込み
出国年月日	2017年9月15日
経路 (往路)	広島空港→羽田空港→ロンドンヒースロー空港→マンチェスター空港
現地での出迎え	<input type="checkbox"/> 有 (大学関係者・その他) <input checked="" type="checkbox"/> 無
到着後オリエンテーションの有無・期間・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (期間: 一週間 内容: キャンパスツアーや新入生パーティなどのイベント) <input type="checkbox"/> 無
帰国年月日	2018年2月9日
経路 (復路)	マンチェスター空港→ロンドンヒースロー空港→羽田空港→広島空港

3. 留学費用について

支出額	総額	1196,610	円	
	内訳	渡航費（往復）	205,250	円
		ビザ申請手数料	20,000	円
		予防接種費用	0	円
		保険料	49,860	円
		教材費（授業料以外の学費）	10,000	円
		宿舍費（住居費、光熱費込み）	400,000	円
		光熱費	0	円
		食費	200,000	円
		通信費（インターネット・携帯）	1,500	円
		交通費（宿舍－大学間）	10,000	円
		交際費	50,000	円
		その他（ （ （ （	旅行費 被服費 費	200,000 50,000

4. 授業・修学について

授業の概要について （カリキュラム、プログラム、履修した科目、時間数、履修形態等）	Introduction to Old English ; lecture 60分、seminar 60分(各週一回)、workshop 60分(隔週) Early Englishes: lecture: 60分(週二回) seminar 60(週一回) Speaking and listening: 120分(週一回) Reading and writing: 120分(週一回)
単位互換希望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
授業・勉強についてのアドバイス （留学前の履修、留学中、単位取得等）	留学前にシラバスを見て取りたい授業を選べるようになっていました。（選んだ授業が定員オーバーで履修できないこともあります。）ホームページで授業のスライドや動画を見ることができると、予習復習に役立ちます。動画を載せていない授業に関しては、教授に頼んで録音させてもらっていました。また、専門科目に関連した本（日本語）を読むと理解が深まって良かったです。教授陣は皆とても優しく、どんな質問に対しても丁寧に教えてくれました。
日本と異なる授業形態などにおける困難や挑戦（ティーチングスタイル・先生と学生の関係性など）	日本ではほとんど講義形式の授業しか履修したことがなかったことに加え、引っ込み思案な性格のためセミナーやディスカッションが一番の困難だった。それでもその時できることを一生懸命やり、（例えば準備を丁寧にすることや、最低一回は発言するなど）少しずつでも成長していけたら良いと思いながら取り組んだ。先生はフレンドリーだったので、授業後に話しかけたりメールで質問したりして、疑問点は早めに解消するようにしていた。他に授業に関して日本と異なる点は、エッセイやテスト等の課題に、結果だけでなくフィードバックが貰えることが挙げられる。厳しい指摘もされるが、改善点が明確になるので良い制度だと思った。

5. 生活等について

(1) 留学先の住居について	
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他（ ）

住居の広さ	約 約25 m ²	同居人の有無	<input type="checkbox"/> 有 (人) <input checked="" type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ()		
住居費	1ヶ月当たり 約 £550 (現地通貨)		約 80,000 円
留学先での住居全般に関するアドバイス	<p>トラブルなどがあった場合、レジデンス用の相談デスクやメンターがきちんと対応してくれるので、早めに相談すると良いと思います。</p>		
(2) 医療について			
保険の加入先	<input checked="" type="checkbox"/> 本学指定の保険 <input type="checkbox"/> 留学先大学指定の保険 <input type="checkbox"/> その他 ()		
保険の補償内容	補償額 死亡 10,000,000 円、入院1日 不明 円 その他 ()		
留学前後での予防接種の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 (種類: 回数: 医療機関名:) <input checked="" type="checkbox"/> 無		
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	<p>学生用の医療センターがある。事前に予約が必要。ウォークインセンターという、予約なしで診察してもらえる施設もあるが、診断書はもらえない。日本と異なり、イギリスの公的病院 (NHS) は診察料が無料なのでその分かなり混む。</p>		
留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと	<p>風邪を引くとかなり長引く。天候や気候の変化に注意。(防寒、防雨など) 暖房をつけると部屋がかなり乾燥するのでこまめに水分補給や換気を。</p>		
(3) 危険を感じた地域、状況、安全管理において注意したこと			
<p>シェフィールドは比較的安全な街なので特に危険を感じたことはなかったが、寮が少し離れた場所にあったので、夜一人で帰るときなどは女性学生専用のミニバスを利用していた。また、お金を降ろす時はなるべく大学内のATMを使うようにしていた。</p>			
(4) 食生活についてのアドバイス			
<p>レンジで炊けるお米やインスタントの味噌汁など日本食を持っていくと便利でした。アジア系のスーパーもあるので、そこで日本食を手に入れることもできます。</p>			
(5) 気候・服装についてのアドバイス			
<p>9月・10月は特に日本との気温差が大きいので、防寒が大切だと思います。また、年間を通して雨がよく降るので折り畳み傘を常備しておくとう便利です。</p>			
(6) 学内外の施設・設備環境について (インターネット環境含む)			
<p>24時間365日空いている図書館があったり、学内のあらゆる場所にカフェがあったりと、勉強には最適な環境が整っている。インターネット環境も良い。一方で英国一位を誇るスチューデント・ユニオンは、旅行、パーティ、映画など(学内に映画館がある)日々様々なイベントを催しており、まさに学生にとって理想的な大学だと思う。大学から徒歩圏内でシティ・センターもあり、買い物にも困らない。トラムで30分くらいのところに大型ショッピング・モールもある。</p>			

(7) 現地学生や地域との交流について (どのような、機会・きっかけがありましたか?)
オリエンテーション、授業、ソサエティ、スチューデント・ユニオン主催のイベント、グローバルカフェなどの機会があった。
(8) 習慣やマナーの違いによる対人関係等、注意すべきこと
何か例を挙げて一般化はしにくいですが、現地学生、留学生ともに様々な国籍、信条、文化を持つ人々が集っているので、リスペクトすることが大事だと思う。
(9) 日本から持っていきべきもの、持っていきべきでないもの
持っていきべきもの：薬など健康に直接関わるもの、日本円 (帰国時のため) 持って行って良かったもの：日本のおみやげ、専門科目の本、日本食、お茶 持っていかない方が良かったもの：重いもの、かさばるもの (読むかどうか分からない本など)
(10) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス
留学前に、メンターの申請をすることができます。現地学生が生活についてアドバイスや手助けしてくれるので、とても心強いです。また、寮の契約開始日から授業開始日まで一週間くらいあると思うので、街や大学を回ってみたり必要なものを買ったりしてみるといいと思います。

6. 帰国後の進路について	
卒業予定年月	2019 年 3 月 (当初の卒業予定年月 2019 年 3月)
卒業が遅れる見込みの場合、その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他 (具体的に)
現在の状況および今後の予定・進路等	地元で就職活動中。
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫	留学前に殆ど卒業のための必須単位は取得していた。

7. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等		
書籍、サイト名	詳細 (出版社、URL 等)	コメント
まいにち、修造!	PHP 研究所	落ち込むことがあっても自然と元気を取り戻せた。

8. 後輩へのメッセージ
シェフィールドはコンパクトな街なので比較的治安が良く、またマンチェスターやリバプール、ヨークなどの観光地に近く、日帰り旅行もしやすいです。シェフィールド大学自体も施設やサービスがかなり充実しているので、学業と遊びを両立させたい人には、本当におすすめの大学です。 留学準備は決して楽ではないですが、ここでの苦労がきっと後々にも生きてくると思います。頑張ってください!

9. 自由記述 (1,200 字程度)

海外経験という、高校の修学旅行で行ったハワイのみだった私にとっては、ほぼ右も左も分からないところから始まった、不安だらけの留学生活でしたが、多くの人の助けを借りながら素晴らしい経験をする事ができました。学習面、生活面ともに何もかもが新鮮な日々でした。大学での授業は、セミナーなど日本とは異なる形態に苦戦しながらも、親身になって教えてくださる先生や勉強熱心な他学生に感化され、知的好奇心が刺激された本当に貴重な時間でした。中でも古英語を履修し、英語のルーツを学んだことは専門分野への魅力を再発見する良い機会となりました。生活面では、日本人学生、留学生含め様々な国籍の友達と交流を深める中で、新たな価値観を知ったり逆に自分の芯のようなものを意識したりと、陳腐な言い方もかもしれませんが「世界が広がる」ということを身を以って体験できた気がします。留学中友達と過ごした時間は、今後も折に触れて思い返すであろう、かけがえのない財産です。もちろん楽しいことばかりではなく、悔しいこともたくさんありました。英語力が高く幅広い分野に知識を持つ周りの学生と比較して落ち込んだり、勉学も生活も理想通りにいかなかったりと、苦しく感じたことも多かったです。しかし、そのような時は自分の弱さにとことん向き合う機会、成長の過程と捉え、あまり焦りすぎないようにして乗り越えました。

この留学中、一つには絞れないくらい印象深い出来事は多かったですのですが、中でもクリスマス休暇にオランダ人の友達の家を訪れたことは一生忘れられない経験となりました。家族全員で歓迎して下さったことに驚いたとともに、その一員になれたような嬉しさを感じました。お互いに英語を母国語としないためコミュニケーションを取るのが少し大変でしたが、風車の中を見学させて下さったり、オランダの家庭料理をもてなして下さったりと、通常の旅行では経験できないようなオランダの日常生活を体験できた素晴らしい思い出です。

留学前と比べて成長した点は、失敗を恐れずに挑戦できるようになったことではないかと思います。以前は自信のなさからやりたいことがあっても躊躇してしまうことが多かったのですが、留学中、例えばイベントなど勇気を出して飛び込んでみると、思い通りにはいかななくても何かしらの出会いや収穫があることが多く、「やらなくて後悔するくらいなら、失敗したとしても挑戦してから後悔した方がよい」と思えるようになりました。また、今までは実家暮らしということもあり、何をするにしても両親に頼ってしまいがちだったのですが、今回初めて一人暮らしを経験したことによって、自立心が養われたと感じています。

留学を通して、英語学習へのモチベーションが上がり、海外生活に再挑戦してみたいという新たな願望も出てきました。特に語学習得への道は長いことを痛感したため、より一層努力していこうと思います。留学中に感じた悔しさは自己変革のばねにして、日々一歩ずつでも成長していきたいです。



注1) 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、HUSA ホームページおよび広島大学ホームページへの掲載、事務室での閲覧や大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます（氏名及び学生番号については、非公開とします）。ただし、公開にあたり不適切と判断された内容については、国際交流グループにて削除等させていただきますので予めご了承ください。